

令和元年度 第3回政策討論会第一分科会要点記録
『企業誘致について』

日 時 令和元年9月20日（金）15時00分～15時55分

場 所 第一委員会室

出席者 西田武史（座長）、井舎英生（副座長）、
倉田賢一郎、田中市子、烏野隆生、桑原佳一、松本妙子、鳥居宏次

本日の討論会では、岸和田市産業政策課 池内課長より、企業誘致の現状と取り組みについて説明を受けた後、テーマに対して明確な目的の共通認識を図るため、各委員が感じている本市の問題点を発表した。各委員の発言要点は、以下の通りです。

① 貝塚市の千石荘跡地利活用

防災拠点や、社会福祉法人が運営する乗馬が楽しめ、障害者も働けるレストラン「森の小径」等、また、日本生命を誘致し、野球グラウンドにしている。卓球部も市内の全公立保育所、幼稚園に卓球の選手たちを派遣指導している。他にも上手に誘致し活用している。いいところは岸和田も学ぶべきである。

② 本市の企業誘致の現状については、阪南2区と丘陵地区への企業誘致を進めているようですが、いずれの地区においてもほぼ売却は完了しているようであり、土地売却による企業誘致という観点からは頭打ちの状態にあると思われます。今後さらに企業誘致を進めていくためには、本市が企業にとってどのような魅力やメリットがあるのかを見極め、しっかりとアピールしていくことが求められるのではないのでしょうか。

③ 平成29年に帝国データバンクによって調査された「木材コンビナート事業所立地アンケート」では、全国1000社の中で関心があると答えたのは約30社である。事業別では、娯楽・マリレジャー、運輸業・倉庫業、賃貸・リース業であった。海面は大阪府の管理下にあるため、今はまだ困難な障壁があるが、大阪府との連携の元、倉庫業や運送業等の一大流通拠点を目指すべきである。

④ 現在、助成などを行っているような分野での企業誘致は、これ以上望めないことが明確になったので、新たな展開を考えていかなければならないと考えます。

⑤ 市トップセールスによる誘致が効果的であると考えます。

⑥ 本市が他市と比較して企業誘致に対する助成制度の新たな支援の取り組みを考えると共に、企業誘致が進むように今ある企業誘致の補助制度の見直しなどを考えるべきである。

⑦ 企業進出を推進するために、市主導の事業会社を設立して企業誘致に取り組んではどうか。

⑧ 現在の本市の企業誘致に対する助成制度は限界にきている様に思われる。特に、ホテルに関しては、助成の条件が近隣市より良い条件設定にもかかわらず、業界から一向に見向きもされていない。今後、企業誘致を積極的に行う為にも助成内容を広げ、今までの大手企業主体ではなく、中小企業にも魅力のある制度に見直す必要がある。

※ 今回の分科会において、これまでの本市の企業誘致についての問題点を抽出した結果、企業誘致の為の助成制度のあり方を精査し、企業側からも魅力のある制度にできるよう今後検討を続け、最終的に本分科会として市側に提言できる様にまとめて行きたい。

※ 次回 10 月 21 日は、他市の先進事例について話し合うことにする。